

— 会 告 —

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会開催について

学 会 長 小 堺 加智夫
大 会 長 山 田 正 人
実行委員長 宮 崎 吉 春

会員各位

第 23 回日本核医学技術学会学術大会は、石川県金沢市の金沢市文化ホールにて下記のとおり開催致します。

メインテーマを「医療を生き抜く優しい核医学技術」、サブテーマに「放射線診療の連携と融合を目指して」を挙げ、21 世紀の医療に貢献できる核医学技術とは何かを議論ができればと思っています。今回は、海外招待講演、特別講演、文化講演、シンポジウムおよび卒後教育プログラム（基礎講座）の他、各モダリティによるパネルディスカッションを企画しております。また、インターネットによる演題受付や一般演題でのパソコン発表を実施すべく準備を進めております。皆様からの多数の演題申し込みとご参加をお願い申し上げます。

記

1. 会 期：平成 15 年 7 月 26 日（土）、27 日（日）

2. 会 場：金沢市文化ホール

石川県金沢市高岡町 15 番 1 号 TEL：076-223-1221

3. 参加登録費：5,000 円

4. プログラム

- 1) 海外招待講演
- 2) 文化講演
- 3) 特別講演（2 題）
- 4) 卒後教育プログラム（4 題）
- 5) シンポジウム
- 6) パネルディスカッション
- 7) 一般研究発表

5. 懇 親 会

会 場：金沢市文化ホール

6. 実行委員会

大 会 長：山田正人 （金沢大学医学部附属病院）
委 員 長：宮崎吉春 （公立能登総合病院）
副委員長：松下照雄 （福井医科大学医学部附属病院）
副委員長：掛下一雄 （金沢医科大学病院）

委員：小野口昌久（金沢大学医学部）
〃：飛坂 実（金沢大学医学部附属病院）
〃：若松敬一郎（福井赤十字病院）
〃：川端満之（高岡市民病院）
〃：利波修一（富山医科薬科大学附属病院）
〃：小野幸一（福井県立病院）
〃：余西 優（福井済生会病院）
〃：川渕安寿（金沢市立病院）
〃：廣瀬 正（富山赤十字病院）
〃：池田良治（石川県立中央病院）
顧問：松平正道（先端医学薬学研究センター）
監査：小澤ふじ子（前・福井県立病院）
〃：松倉昭芳（富山県立中央病院）

7. プログラム委員会

委員長：山田正人（金沢大学医学部附属病院）
副委員長：宮崎吉春（公立能登総合病院）

8. 事務局

〒920-8641 石川県金沢市宝町 13 番 1 号 金沢大学医学部附属病院アイソトープ部
第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会実行委員会
TEL:076-265-2000（内線 3480）FAX:076-234-4279
E-mail: ribu2@med.kanazawa-u.ac.jp

— 会 告 —

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会 一般研究発表演題募集

1. 演題募集要項

- 1) 演題申込者は日本核医学技術学会会員に限ります。
- 2) 演題登録にはつの方法があります。
 1. 学会ホームページから登録する方法。
 2. 本誌綴じ込み申込用紙の郵送による方法。
- 3) 発表予稿は文字のみとし、目的、方法、結果、結論の順位記載し、演題名、所属、氏名を含めて 44 字×15 行以内になしてください。
- 4) 発表者は必ず氏名の筆頭に記述してください。
- 5) 学会ホームページからの登録方法に関する詳細は、学会ホームページをご参照ください。
URL) <http://www.mmjp.or.jp/J-SNMT/>
- 6) 郵送にて申し込まれる場合は、次に挙げるものを同封してください。
 1. 演題申込書
 2. 発表予稿と同一の内容をテキスト形式にて保存したフロッピーディスク
(フロッピーディスクには演題名、氏名を記載してください。なおご送付いただいたフロッピーディスクは返却できませんのでご了承ください。)
 3. 返信先を記載した官製はがき 2 枚 (演題受理用、発表日時通知用)。
なお、電子メールアドレスでの連絡を希望される方ははがきの同封は必要ありません。

2. 発表形式

パソコンを推奨。スライド発表も可能です。

発表 7 分、討論 3 分、スクリーン 一面横映写。

3. 申込期限

平成 15 年 4 月 1 日必着

但し、インターネットによる演題登録は、平成 15 年 1 月 31 日からとなります。

4. 申込先

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会実行委員会事務局

〒920-8641 石川県金沢市宝町 13 番 1 号

事務局：金沢大学医学部附属病院アイソトープ部

TEL 076-265-2000 (内線 3480) FAX 076-234-4279

E-mail:ribu2@med.kanazawa-u.ac.jp

研究発表についての注意事項

1. 共通項目

- 1) 発表時間はパソコン発表、スライド発表ともに発表7分，討論3分で行ないますので時間厳守をお願いします。
- 2) スクリーンはパソコン発表，スライド発表ともに横一面映写のみとなります。
＊二面映写，縦スライドは使用できませんのでご注意ください。
- 3) 発表はパソコン発表，スライド発表のいずれかで併用はできません。

2. パソコン発表の演者の方へ

- 1) 各自パソコン本体をご持参ください。
- 2) 画像出力および動作確認につきましては受付後に各自でお願い致します。
- 3) 液晶プロジェクターへの接続は、下記の外部出力端子を使用致します。
Windows 対応：VAG コネクタ（ミニ D - SUB15 ピン）
Macintosh 対応：VAG コネクタ（ミニ D - SUB15 ピン）
＊上記外部出力端子に合わない場合は、各自にて変換コネクタをご準備ください。
＊接続がうまくいかない場合を想定して、予めスライドを持参されることをお勧め致します。
- 4) 発表時の操作は各自でお願い致します。
- 5) Power Point でのスライドショーでは映写時の誤操作で最後まで行ってしまった場合、終了してしまうために最初からやり直す必要がありますので、最後にダミースライドを作成されることをお勧めします。

3. スライド発表の方へ

- 1) スライドは 35mm スライドで、紙マウントは避けてください。
- 2) スライドの枚数に制限はありません。
- 3) スライドは原則「横スライド」にて作成ください。

何かご不明な点等は下記にご連絡ください。

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会実行委員会事務局

〒920-8641 石川県金沢市宝町 13 番 1 号

事務局：金沢大学医学部附属病院アイソトープ部

TEL 076-265-2000（内線 3480） FAX 076-234-4279

E-mail:ribu2@med.kanazawa-u.ac.jp

【発表予稿見本】

動物実験モデルにおける心筋血流製剤 Tc-99m tetrofosmin の腸管動態 -安静と薬剤負荷の対比-
金沢大学医学部保健学科 同・附属病院アイソトープ部*

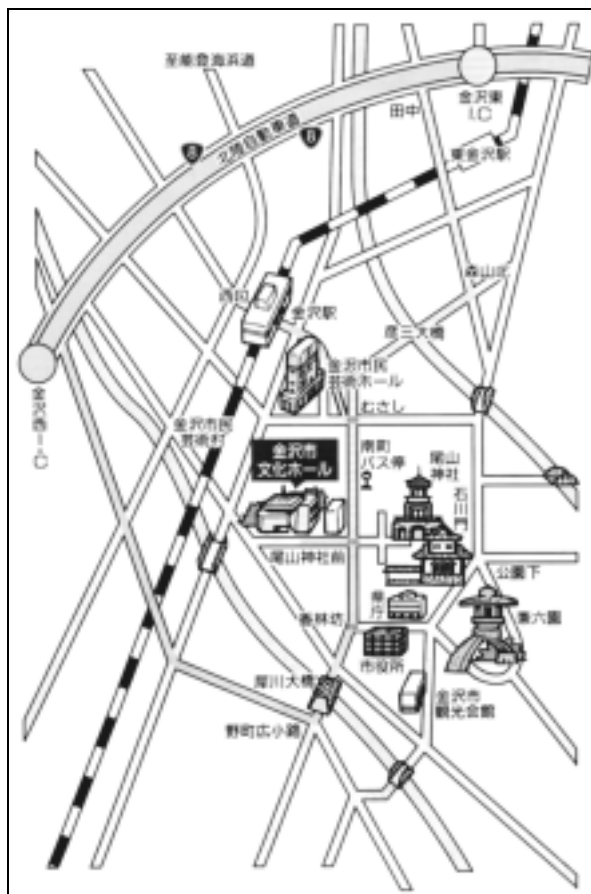
小野口 昌久, 辻 志郎, 山田正人*

【目的】 安静および薬剤負荷時(ジピリダモール)の正常ラットを用い、両群の腸管動態ならびに摂取率について比較、検討した。

【方法】実験動物は正常な雄ドングラット 55 匹を使用し、各条件下で Tc-99m tetrofosmin 30MBq を投与後、5, 10, 15, 30, 60 および 90 分後に屠殺し、十二指腸、小腸、大腸を摘出した。摘出した各腸管をガンマカメラで撮像後、ウェル型シンチレーションカウンタで測定し、摂取率(%injected dose/g)、心臓/各腸管比および腸管壁と内容物の放射能含有比を算出した。

【結果】腸管摂取率は両群に有意差を認めないものの、安静に比し薬剤負荷で高値を示した。心臓/十二指腸比は安静時では 30 分以降に、薬剤負荷時では 60 分以降に 1.0 以上となった。腸管の放射能はほとんどが内容物によるものであり、両群の経時的変化に有意差を認めなかった。

【結論】各腸管の摂取率は各時間で安静と薬剤負荷との間に有意差を認めなかったが、安静に比し薬剤負荷で高値を示した。心臓/腸管比から、臨床上の最適な SPECT 撮像開始時間は、安静では 30 分以降、薬剤負荷では 60 分以降が望ましいと考えられた。



＜交通機関＞

●金沢駅から会場まで

- ・ 北鉄バス約 15 分（南町下車徒歩 3 分）
- ・ タクシー約 10 分

●小松空港から会場まで

- ・ 空港バス約 50 分（香林坊下車徒歩 5 分）

＊会場には駐車場を設けておりますので
あらかじめご了承ください。

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会演題申込書

＊ 受付番号		＊ 演題番号		＊ 演題群	
-----------	--	-----------	--	----------	--

分野区分：☐インビボ ☐インビトロ ☐その他

発表形式： ☐PC 発表希望 ☐スライド発表希望

返信方法：☐E-mail 希望 ☐はがき希望（返信先を記入した官製はがきを2枚同封）

住所：〒

施設名: _____

所 属: _____

氏名 (フリガナ) _____ ()

連 絡 先:TEL

FAX	内線
-----	----

E-mail _____

発表予稿貼付欄



